留 学 の 手 引

大切なことだから
自分の留学は
自分で決める、自分で築く。

留学の手続きを始める前に
必ず読みましょう

ＮＰＯ法人留学支援協会

留学のこと、
他人任せにしていませんか？

NPO法人留学支援協会は
留学を自分で考え、自分で決定し、
自分で手続きをする方のための支援団体です。
留学の手続きを通して、
責任感・自主性・積極性を学び、獲得することを
ひとつの大切な目的としています。

当団体は、あなたが留学するために、
どんな手続きが必要なのか、
どんなことにどれくらいの費用がかかるのか、
留学するためにどんな準備や心構えが必要なのか、
留学するあなたが把握し、理解してはじめて責任感・自主性・積極性が生まれると考えています。

留学は旅行とは違います。
その地の「文化」を知り、「生活」を送ることが必要です。
海外では、あなたの感情や雰囲気を察して周りが率先して声をかけてくれることはないでしょう。
困ったことがあったとき、黙って待っていても誰かが助けてくれることはありません。
それは、海外の人が冷たいからではなく、異なる文化を持つからです。
特に留学先として選ばれる欧米諸国は
「個人」の尊重し、「自立性」を重要視する文化が根付いています。
黙っているままでは、異なる文化を持つ人には
あなたに不満があるのか、困り事があるのか、わからないのです。
海外では「私は助けが必要です」と
あなたが声を発しなければならないのです。

留学に関わる手続きは決して簡単なことばかりではありません。
ですが、自分が目指す留学は、他人任せにせず自分でやりとげてこそ
はじめてあなたは留学することに胸をはれるでしょう。

やりたいことに自信を持って目指すことができるように、
自分の海外生活を管理し、トラブルにも責任を持って対応できるように、
他の誰でもなく、留学するあなた自身が、
「留学する」意識をもち、責任を持ってがんばりましょう。

保護者のみなさまへお願い

NPO法人留学支援協会では、
自己手続きを通して自分の留学に責任をもち、
海外への心構えや責任感・自主性・積極性がどういうものか、
留学するご本人に考え、行動してもらいたいと考えています。

保護者の方の理解や助言、手助け、援助はとても大切ですが、
ご本人が「忙しいから」「未成年だから」「難しい手続きだから」
「決められないから」「ハッキリ言えないから」
と、良かれと思ってであれ、保護者の方が代わりに
当団体をはじめとする各所へ連絡したり、手続きを代行したりなど、
必要以上に干渉することはお控えくださいますようお願いします。

留学の決定から出発まで！

決定事項にチェック ☑ を入れて確認しよう！

(１)情報収集および決定(1年～6か月前目安(内容によってそれ以上前からでも可))

□渡航国　Country：

□期　間　start　/　/　~　/　/

□滞在方法　Homestay / Dormitry / other：

□部　屋　Single / Twin / Triple / other：

□食　事　Half-board / Full-board / other：

□学　校　School：

□ビ　ザ　種類：

□費用概算　¥

□航空機手配　詳細などメモ：

□アレルギー、持病、常用の処方箋および薬の確認

事前に聞き取りをしますので、必ず申請してください
英語表記の診断書、処方箋が必要となる場合もありますので、
必要な場合は前もって担当医に相談してください
申請がないまま渡航した場合、強制帰国の対象となる場合もあります

(２)書類提出(1年～３ヶ月前 目安)
必要書類は留学内容によって異なります

□申込書(提出先：NPO法人留学支援協会)
□確認書(提出先：NPO法人留学支援協会)
□入学申請(提出先：入校予定校(無い場合もあります))
□滞在申請(提出先：現地オフィスなど(無い場合もあります))
□パスポート(申請先：各自治体)
□ビザ申請(申請先：渡航国による)
□その他　(申請先：　)
□その他　(申請先：　)
□その他　(申請先：　)

(３)出発準備(６～３ヶ月前 目安)

□費用送金(送金方法は留学内容によります)
NPO法人留学支援協会代行 / クレジットカードなど
□滞在中に使用する現金・銀行口座・
クレジットカード・デビットカード(ネオマネー)などの準備
２種類以上を準備することが望ましい
□常用している処方箋および薬、英語表記の診断書などの準備

担当医への
確認が必要です

(４)渡航直前(１ヶ月前 目安)

□海外保険の加入
留学支援協会でも加入の紹介をしています
(東京海上日動火災 / ジェイアイ保険)
□出発前オリエンテーション / 空港案内
□持ち物の準備
□渡航後のスケジュール確認
□滞在先などへの挨拶メール送信など

持ち物チェックリスト

必需品リスト
□パスポート
□航空券
□空港出迎え確認書
□ビザ関連書類
□保健証書
□入学許可証
□滞在確認書(ホームステイ / 寮)
□財布・現金・カード類
□筆記用具
□電子辞書など
□衣類・下着
□洗面用具など
□常備薬・処方箋・診断書など
□日本への緊急連絡手段
メールアドレス、SNSなどの確認

その他リスト
□コンタクトレンズ・メガネ予備
□化粧品・生理用品
□ドライヤー
□カメラ
□水着
□虫除け
□変圧器(滞在先の電圧など事前確認!)
□
□
□
□
□

渡航前に確認しよう

□日本の健康保険、年金など
□日本で加入中の生命保険など
□日本で使用している携帯電話
□
□

出発したら

(１)貴重品は

パスポート、財布(現金)、保険証などは防犯対策をしっかりして、肌身離さず持ち歩きましょう。

(２)航空機の遅延・変更があったら

必ず到着地の出迎え担当者に伝えましょう。変更などの情報は誰も伝えてくれません。

(３)経由地の空港では

航空機の出発時刻は経由地の時刻です。時差で間違えないようにしましょう。
乗継便の搭乗窓口は余裕をもって確認し、わからない時は近くの空港スタッフに尋ねましょう。
搭乗券を見せて聞くとわかりやすいです。

(３)入国審査では

「入国目的」と「滞在期間」はハッキリ伝えましょう。
質問に、適当な「Yes」「No」で答えるとトラブルになることがあります。

留学中は

(１)ホームステイ・寮

○お世話になっていることを、常に意識しましょう
○滞在先のルールは必ず確認して(訊いて)、きちんと守りましょう
○貴重品の管理は、自分で責任を持って行いましょう
○部屋はきれいに保つようにしましょう
○困ったこと、嫌なことがあったときには、まずは直接相手に伝えましょう
日本とは違い、察する文化ではないので、ケンカ腰に文句をつけるのではなく「私は○○でこまっているのでこうして欲しいと思っている」など、相手にきちんと自分で意思を伝えることが礼儀です
その場では言わず、後から伝えたり、クレームを言うのは「フェアではない」という価値観が主流です
○お互いに気持ちよく過ごすことが大切です。常に気遣いの気持ちを持ちましょう

(２)学校

○積極的に授業に取り組みましょう
発言をためらわない / どんどん質問をする / 宿題はきちんとしていく
○理解できないこと、わからないことはそのままにせず「わからない」と伝えましょう
わからないと伝えないままだど相手(先生)は「あなたが理解している」という解釈をします
理解できないこと、わからないことは「恥ずかしいこと」ではありません
理解したフリをして、そのままにする方が「恥ずかしいこと」だという認識でいましょう
○貴重品の管理は、自分で責任を持って行いましょう
○日本語で喋らないように心がけましょう
○アクティビティは有料の場合もあるので、参加したいものがあったら確認しましょう

(３)トラブル、困ったことがあったときは

○まずは自分で解決できることか、人の助けが必要かを判断しましょう。程度にもよりますが、安易に人に頼らず、まずは自分で解決する努力をしましょう
自分で解決できないと判断した時は、身近な人(学校のスタッフ、ホストファミリーなど)に相談します
日本の家族に相談するのは一番最後です(必要があれば、学校から当団体経由で連絡をします)
なんでも日本の家族に連絡して保護者に解決してもらう、という手段はフェアではありません
海外では、親が細かく口出ししてくることは、「親離れ」「子離れ」ができていないとして、評価が著しく下がることと認識してください
○問題がある場合は、その場で解決するように心がけましょう
日本へ帰国してからでは解決には至らないことも多くあります
○留学先では「自分がここでは外国人である」「日本人である」ことを常に意識しておきましょう
○日本では「常識」であることが、海外でも「常識」であるとは限りません
海外ではどういう意識や文化であるかを理解することが大事です
○危機意識を持つことは大切です。
夜に限らず暗い場所や道、危険とされる区域、お酒などには常に気をつけましょう
自己防衛がをしっかりして自分の命を守ることが一番大事です

NPO法人留学支援協会
TEL 022-302-7741
URL http://www.npostudyabroad.jp info@npostudyabroad.jp